

vol.
29

2025
WINTER

take
free

八反丸リハビリテーション病院



八反丸リハビリテーション病院

新春特別対談

八反丸 哲史 理事長

×
福田 美喜子 院長

特集

ここが変わった
新病院!





新春特別対談

Special Talk

八反丸 哲史 理事長 × 福田 美喜子 院長

地域がなければ病院は成り立たない。
2025年は「地域共創」を加速させたい。



——あけましておめでとうございませす。さっそくですが、2024年の振り返りからお願ひします。

理事長 まずは新病院が完成したのが大きな出来事でしたよね。ただ実際は、もっと感動とか歓喜が職員含めあるのかなと思ってたんですが、余韻に浸る間もなく日々の業務に入っていたので、あつという間に過ぎ去った1年でした。無事に軌道に乗り安心しています。

院長 ありがたいことに患者さんの数が想定していた以上に増えました。もちろん建物が新しくなったので、少しは増えてもらえるかなとは思ってましたが、想像以上に来てもらい、その対応で職員みんなバタバタだったので、気がついていたら年末だったという感じです。

——大きな転換期を迎えた2024年を経て、新年が始まりましたが、2025年ほどのような年にしていきたいと考えていますか？

理事長 理事長に就任して2年が経ちますが、今までは現状を把握し、病院の立ち位置を確認したりと今後の病院づくりのために様々な角度から観察する時間をとってきました。

の年越しで、心配だったので、仕事の携帯をずっと持っていました。特に何もなかったのですが、特にはたけど。それ以外は特に：笑

院長 会長の傘寿のお祝いで家族が全員集まったのがとても印象的でした。まさに病院とともに生きてきたので、お祝いでよかったです。

——最後に患者さんにメッセージをお願いします。

院長 病院も新しくなり、ハード面はもちろん充実していますが、提供する医療の質をさらに高め、困ったときに必ずそばにいる、地域に愛される病院を加速させていきたいと思ひます。困ったらずは八反丸リハビリテーション病院にお越しください。

理事長 来年の80年もまだまだ通過点ですので、これまで支えていたいただいた地域の皆様へ恩返しをするために、いろいろなことにチャレンジしていきます。「かんまちに八反丸があつてよかった」と言ってもらえような病院を目指して2025年も日々、取り組んでいきます。

いとけない。自発的に地域のために何ができるのかを考え、実行していく職場の雰囲気づくりも我々の使命だと思ひます。地域といつても様々で大きい存在なので、一人の力では難しい。だからこそ、ホップ、ステップ、ジャンプが必要で、ジャンプの地域共創のためにまずは、職員一人ひとりが意識を向けてもらえるような取り組みをやつていこうと思ひます。

院長 80年この地域でやつてきたと言ふのはとても大きく、深く、その歴史や考え方は確実に職員に根付いていると感じています。「病気を診ずして病人を診よ」という会長の考え方をこれから先も体現していくために、病院の歴史や風土を大事にして、時代に合わせて変わるべきところは変えていきながら、変わらないために変わつていけたらと思ひます。80年だからこそ、あらためて「かんまち地区に八反丸があつて良かった」と地域に愛される病院になつていかないといけないと感じます。

——ちよつとプライベートなお話も：2025年のお正月はどのような過ごされましたか？

理事長 今回、新病院になつて初め

それを踏まえて、うちがどのようなボジションを取り、何をやらなないといけないかが、徐々にわかつてきたので、今年からは外へ向けて多くのことを発信、チャレンジしていく年のスタートだと位置付けています。そのチャレンジの大きな軸が「地域共創」だと考えています。地域がなければ病院は成り立たない。地域に愛され、必要とされてこそ、病院に価値が生まれる。かんまちにある意味をもう一度考え、地域に還元する取り組みを今年から加速させたいと考えています。

院長 2025年も質の高い医療を提供しつづけることが私たちが現場の大きな役割です。ハード面が新しくなつても本質は変わりません。理事長が言うように地域に愛され、頼られる病院になるために、今年も職員一人ひとりが学び、表現できる職場にできたらと思ひます。

——そして2026年には80年という大きな節目を迎えます。

理事長 80年：大きいですよ。本当に80年もこの場所が続けてこれたのはひとえにかんまち地区の人たちの支えがあつたからこそだと思ひます。そのことを全職員が気づかな

困ったときに必ずそばにいる、 地域に愛される

八反丸リハビリテーション病院を加速させます。



長年お世話になった旧病院

新病院が2024年5月に開院して早いものでもう半年が過ぎました。実際に半年間、新病院を利用してみて、また新病院で働いてみて、入院患者さん、職員は旧病院との違いをどこに感じているのでしょうか？今号では、旧病院に比べて変化を感じるところをさまざまに聞かせてみました。

【特集】

新病院開院から約半年 /

どこが変わった？ 新病院のホンネ！

患者さん・職員がホンネで語る

ここが変わった新病院！

患者さんや職員は実際、新病院のどのようなところが変わったと感じているのでしょうか？ここでは、患者さん・職員に旧病院と比べて変わったところを本音で語っていただきました。

病棟のスタッフステーションからリハ室や食堂を見渡せるので、全スタッフで患者さんの回復を気にすることができるようになったのは大きい変化だと思います。

看護師Cさん

当たり前ですが、とにかく綺麗になりました。木目のデザインはとても落ち着きます。

外来患者Aさん

管理棟に休憩できるスペースがありゆっくりお昼ご飯などで利用できるのはありがたいです。

事務職Aさん

国道10号から一目でわかるため初めてでもとても行きやすいと感じました。

外来患者Cさん

リハ室に大きな窓があるため、外光が多く入るようになったので、患者さんの気持ちも明るくなっていると感じます。

理学療法士Aさん

病院のまわりに植物が増えたので旧病院以上に散歩が楽しみになりました。

入院患者Fさん

各階、スタッフステーションが一つにまとまったため、職員間のコミュニケーションがとりやすくなりました。

看護師Bさん

トレーニング施設と外来リハの場所が同じになりとても効率的なリハビリができるようになったと感じています。

外来患者Bさん

各階の動線がわかりやすくなったため時間のロスが少なくなりました。

看護師Aさん

仕事をするスペースが広くなったため、単純に仕事がしやすくなりました。

コメディカルスタッフAさん

トイレが備えてある病室に入院したので、とても便利になりました。

入院患者Dさん

屋上のリハビリ施設は桜島も見えてとても気持ちよくリハビリできます。夏は暑すぎて外に出れませんが…。

入院患者Gさん

5階・4階から見える桜島は旧病院にはなかった新しい魅力だと思います。

作業療法士Aさん

病院全体が明るくなった気がするので、入院している患者さんの表情も明るくなったように感じます。

ご家族Aさん

トイレの数が増えて、旧病院のように待たないで済んでいるのが、大きく変わったところだと感じています。

入院患者Eさん



ここが変わった新病院! 新病院のホンネ!

～新病院 開院 半年記念 特別座談会～

新病院開院から半年が過ぎました。

実際に現場で働いている職員はどのような変化を感じているのでしょうか?
今回、各階のリハビリテーション士長、看護師長に集まっていただきリアルな声を聞いてみました。



スタッフステーションからは
リハ室などを見渡すことができます。



落ち着いた雰囲気の下は
リハビリでも多く利用されます。



これからも地域で一番の
リハビリテーション病院を目指します。

機能の向上に加えて、医療の質でも

新病院ができてくれて良かったと思ってもらえるようにしたい。

「開院半年が経ちまして、現場の様子はいかがですか?」
2階看護師長 Hさん 当初は、部屋の位置などに慣れず、あたふたしましたが、今は慣れて快適にサポートできています。
4階リハ士長 Iさん 引越しの日はとても緊張感がありましたが、ホッとする暇もなく、すぐに通常通りのケアをしなければならなかったのが、慌ただしく、気がつけば半年過ぎていたといった感じです。
3階看護師長 Tさん スタッフも最初は落ち着かない感じでしたが、やることは変わらないので、すぐに仕事に入りました。今も患者さんは新しく綺麗な病院に喜んでいただいています。
—— 実際に旧病院と比べてどのような変化がありますか?
2階リハ士長 Mさん 国道沿いに移ったことで、2階は食堂から国道を眺める交差点がすぐ近くに見えるので、車を見て気

ごせるようになりました。また、とても静かで外の音も聞こえないので、患者さんから「熟睡できるようになった」という声を聞きます。睡眠の質も旧病院に比べると格段に上がっていると実感しています。
2階看護師長 Hさん トイレの数が大きく増えました。旧病院は時間帯によっては殺到していましたが、数が増えたことで、待つことなく利用することができ、患者さんのストレスは大きく減ったのではないかと思います。また浴室も大きくなり、各階に設置されているので、順番待ちが減り、快適に利用いただいています。
3階リハ士長 Tさん 廊下が回廊になったことで回りやすくなりました。また床につきはぎがなく、歩きやすい素材になっているので、患者さんのリハビリにも大きく役立っています。以前はいくつかあったリハビリ室が各階1ヶ所に集約されたので、患者さんの情報共有が頻繁にできるようになったのも大きな変化だと思います。スタッフ同士でコミュニケーションをとって動いている姿をよく見か



国道10号沿いに移転した新病院は、
道路からも一目でわかります。

分転換になっている患者さんをよく見かけます。
3階看護師長 Tさん エレベーターを降りてすぐのところにあるスタッフステーションがオープンなつくりになっているので、開放的で明るく、スタッフと患者さん、そのご家族ともとてもコミュニケーションがとりやすくなりました。些細なことでも患者さんが相談しやすくなったと思います。
4階看護師長 Iさん デイルームに大きな窓があり、とにかく明るいので、患者さんからも「食事は窓際で取りたい」などの声上がるほど人気のスペースになっています。日光が多く入るので患者さんもスタッフも明るく前向きな気持ちになれるのが大きな特徴だと思います。
4階リハ士長 Iさん 換気システムの充実
は大きな変化ですね。病院特有の匂いもなく、室温も一定に保たれているので、年間を通して快適に過

けるので、提供するサポートの質も上がってきたと感じています。
—— 最後に患者さんへメッセージをお願いします。
3階リハ士長 Tさん 新病院はリハビリをするにはかなり質の高い場所なので、ぜひ利用していただきたいと思っています。我々スタッフは、引き続き、協力して質の高いサポートが提供できるように一人ひとりの患者さんと向き合っていきます。
4階看護師長 Iさん 患者さんにとって快適で過ごしやすい、リハビリでの効果を最大限得られる病院でありたいと思います。この病院に来てよかったと思ってもらえるよう日々の業務を全スタッフ協力して行いますので、ぜひ、一度、病院にお越しください。
2階リハ士長 Mさん 建物は新しくなり素晴らしい環境が整ったと思います。ここからはさらに提供する医療の質を高め、患者さんだけでなく、地域の方々からも「八反丸リハビリテーション病院が新しくなりここに存在してくれて良かった」と思ってもらえるように努力していきます。

が大きな特徴だと思います。
4階リハ士長 Iさん 換気システムの充実
は大きな変化ですね。病院特有の匂いもなく、室温も一定に保たれているので、年間を通して快適に過



リハケア部
4階看護師長 Iさん



リハケア部
4階リハ士長 Iさん



リハケア部
3階看護師長 Tさん



リハケア部
3階リハ士長 Tさん



リハケア部
2階看護師長 Hさん



リハケア部
2階リハ士長 Mさん

八反丸リハビリテーション病院 主催

TOPICS 3

「第2回 グラウンド・ゴルフ大会」開催!

昨年度好評でしたグラウンド・ゴルフ大会を今年度も11月13日に開催し、32名のグラウンドゴルファーの方々にご参加いただきました。

今年も素晴らしいプレーが続出。クイズ大会も大盛り上がりでした。ケガ人や体調不良者を出す事無く、無事に大会を終えることができました。当院では、「みんなの嬉しい・良かったを追求めます」という理念のもと、今後もこのような大会の企画や出張健康教室などの地域貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



TOPICS 4

新病院完成記念講演会 開催!



8月17日(土)「新病院完成記念講演会」が催され、東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座准教授、ならびに社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院 院長の宮村純平先生に講師を務めていただきました。「病気を診ずして病人を診よ 一回復期リハビリテーションでの実践」をテーマに回復期リハビリテーションのフィールドでの実践について症例を交えてご講義いただき、聴講した職員一同、大変勉強になりました。



TOPICS 1

第32回 日本慢性期医療学会 参加!

2024年11月14・15日にパシフィコ横浜で開催された「第32回 日本慢性期医療学会」に参加し、外来・通所リハについてポスター発表しました。



一般社団法人 日本慢性期医療協会が主催する本学会は高齢者医療の質の向上を目的としており、シンポジウムや講演、対談などを通じて、慢性期医療の現場における課題を共有、議論が行われます。今回は『“治し・支える”良質な慢性期医療～サイエンス・アートの調和と統合～』をテーマに活発な意見交換が行われました。



TOPICS 2

2024年度 院内研究発表会 開催!



エントリー演題

1. Coronavirus disease2019肺炎後の器質性肺炎による内部障害 (呼吸機能低下) に対するリハビリテーション治療の効果
2. 回復期脳卒中患者の転倒要因に関する研究
— 転倒アセスメントシートを用いて —
3. 脆弱性骨折を呈した大腿骨近位部骨折および臨床椎体骨折患者の認知機能の横断的調査
4. 脆弱性骨折で入院した大腿骨近位部骨折および臨床椎体骨折患者の認知機能低下の要因に関する横断的調査
— 転倒・せん妄の有無・住まいに着目 —
5. 訪問リハビリテーション利用者における自主トレーニング継続の状況
6. 認知機能と作業遂行の低下が見られた脳梗塞の一例に対する作業を基盤とした介入の試み
7. Dual-task (DT) Frail CS-10は注意を反映する評価になりえるか?
— TMT-Jを用いての検討 —

2024年7月31日に、移転後初の院内研究発表会を開催しました。今回も「ハイブリッド開催(来場型・リモート型の組み合わせ)」で実施し、フロアはもちろん、リモートで視聴していたスタッフからも質問があり、有意義な意見交換ができました。

院内研究発表会は自身のスキルアップはもちろん、今後のより良い臨床・業務につながる重要な院内活動です。今後も、患者さん・職員・地域にとってより良い取り組みを行い、信頼される病院であるよう一丸となって活動してまいります。



TOPICS 8

J2鹿児島ユナイテッドFC シーズン終了報告

当院がオフィシャルスポンサーを務めているJ2鹿児島ユナイテッドFCの米澤令衣選手が、シーズン終了の報告に当院を訪問されました。残念ながらJ2残留とはなりませんでしたが、来シーズンは心機一転、J3での躍進を期待しています！今後も、当院は鹿児島ユナイテッドFCを応援しています。



TOPICS 10

クリスマスツリー設置

新病院になって初めてのクリスマスは総合受付と各入院病棟にクリスマスツリーを設置いたしました。ツリーへの飾りつけを患者さんで行い、童心に返ったような笑顔溢れる、季節を感じる事ができたイベントとなりました。



TOPICS 9

避難訓練を実施しました



新病院移転後、初めての避難訓練を実施。新病院となり、新しい防火設備や以前の建物と異なる構造を踏まえての訓練となりました。訓練者や見学した上席者、点検業者様からも様々な意見が出され、今後の新病院での防火対策を考える大変有意義な訓練となりました。

TOPICS 6

北義肢製作所様より 新病院開院記念を いただきました。

北義肢製作所 様より新病院開院記念として大きいサイズ(耐荷重130Kg)の車椅子2台とトランスファーボード付き車椅子1台を寄贈していただきました。いただいた車椅子は大切に使用させていただきます。ありがとうございました！



TOPICS 6

2024年度 定期表彰式

2024年度の院内表彰を実施しました。各賞があり、理事長より直接表彰状が授与されました。

- ベストオブサンクス賞
最もサンクスカードを集められた方へ贈られる賞
- 特別賞
院外における発表で優秀な成績・掲載をされた方へ贈られる賞
- 優秀発表賞
院内研究発表会において、優秀な発表をされた方へ贈られる賞
- 永年勤続表彰〈永年勤続10年〉
- 永年勤続表彰〈永年勤続20年〉



表彰を受けられた皆さん、おめでとうございます!! 今後も当院ではサービスの質向上に向けた、また働く職員の業務効率改善、負担軽減に向けた努力を行ってまいります。

TOPICS 7

鹿児島駅周辺 クリーン作戦2024 参加!

2024年6月8日(土)に「鹿児島駅周辺クリーン作戦2024」に参加させていただきました。

6月8日の鹿児島駅開設記念日に合わせて「上町の日」として親しんでいこうと上町タウンマネジメント様が主催されています。当院も上町地区のさらなる発展とともに、綺麗な地区へとなるよう、今後もこのような清掃活動に積極的に参加していきます



Follow us! その他SNSも展開中!



八反丸リハビリテーション病院
公式HPはコチラ



病院公式チャンネル YouTube

八反丸リハビリテーション病院では、公式YouTubeチャンネルを開設しています。当院の理念やビジョン、特徴、診療科などをまとめた内容の「ハリハ紹介してみた」など、様々な動画をアップしていますので、ぜひご覧になり、チャンネル登録をしていただけたらと思います。



チャンネルはコチラ!





編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、爽やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
昨年は5月に新病院が開院し、新たなスタートを切ることができた特別な1年でした。

本年もさらに医療の質を高め、

【みんなの「嬉しい」「良かった」を追い求めます】の理念のもと、
地域で一番のリハビリテーション病院を目指して取り組んでまいります。

2025年も何卒、よろしくお願いいたします。

Editor's Note

2025年2月発行

医療法人 慈光会
はつたんまるリハビリテーション病院
〒892-0852 鹿児島市下竜尾町3番28号
TEL:099-222-3111(代) FAX:099-226-8945
URL <https://hattanmaru.jp>
E-mail jhh@hattanmaru.jp



病院機能評価
安心安全な質の高い医療の提供に努めています。



経営品質
患者満足や職員満足の実現を目指し、業績の向上を達成していきます。



くるみん
職員が働きやすい子育て支援の環境作りに積極的に取り組んでいます。